

健全な生育を、は種時からしっかり守る。

きれいなツヤ肌の だいこんにしあげる



手取り収入を左右する、厄介なキスジノミハムシに、致命傷を作させない。

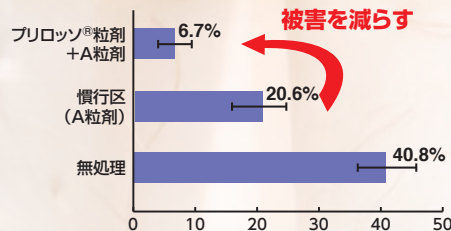
根から吸収された卓効成分が、
だいこんの内側から、害虫をブロック！

極微量の経口取り込みで、
害虫の加害を、即停止！

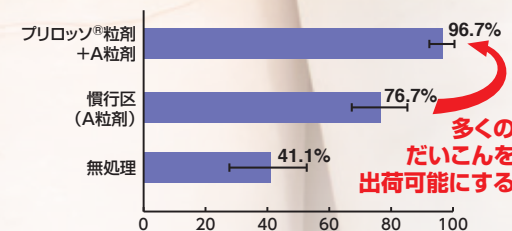
キスジノミハムシに対する防除効果

鹿児島県での試験事例

●被害度



●出荷可能根率(%)

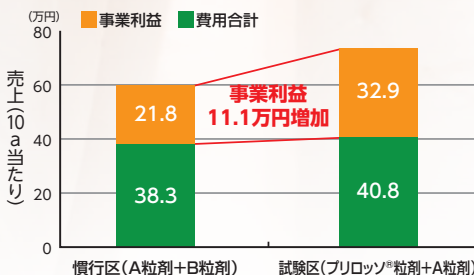


**1,120本/10a
収量増加!**
(慣行防除と比較)
(5,600本/10a
栽培と仮定)

2018年 鹿児島県農業開発総合センター 大隅支場
供試品種：夏天下 播種時期：9月7日播種
供試薬剤：プリロツン®粒剤 (6kg/10a 播種時播溝土壌混和、地表面から深さ5cm付近)
A粒剤 (4kg/10a 播種時播溝土壌混和、地上表面付近)
散布剤：なし

栽培密度等：畦間130cm、条間40cm (2条播種) 白黒ポリマルチ栽培
供試機：播種同時局所施用機 (2剤用)、車速運動施肥機、同時穴開シーダマルチャ
考察：キスジノミハムシの発生が多い9月播種でも、プリロツン®粒剤とA粒剤の併用で生育期の散布を行わなくても被害抑制効果が認められた。ただし、生育期の散布を組み合わせた方がより効果が安定する場合もある (本種の発生タイミングと防除の時期)

長野県での試験事例



2019年 長野県 北信農業改良普及センター
播種時期：6月19日播種 (実証区)、6月20日播種 (慣行区)
供試薬剤：実証区：プリロツン®粒剤 (6kg/10a)、A粒剤 (4kg/10a)
慣行区：B粒剤 (6kg/10a)、A粒剤 (4kg/10a)
処理方法：播溝土壌混和
散布剤：慣行散布
栽培密度等：畦間120cm、株間30cm、条間45cm (2条播種)
供試機：播種同時局所施用機、施肥機
考察：被害度は慣行区が13.3、実証区が4.4で、防除効果は実証区が明らかに高いと考えられた。実証区は慣行区と比べ農業薬剤費、減価償却費等生産原価は上がるが、キスジノミハムシの防除効果が高く、出荷可能率が上がるため、最終的な事業利益は慣行区を上回ると考えられる。

**13.6万円/10a
売上増加!**
**11.1万円/10a
利益増加!**
(慣行防除と比較)

※プリロツン®粒剤オメガとプリロツン®粒剤の薬効は同等です。

だいこん播溝土壌混和处理 殺虫剤

ジアミド剤のプロ
FMCの卓効成分
シアントラニプロール
(通称：サイアジビル®)
0.5%配合!

プリロツン® 粒剤 オメガ

powered by
CYAZYPYR®
ACTIVE INGREDIENT



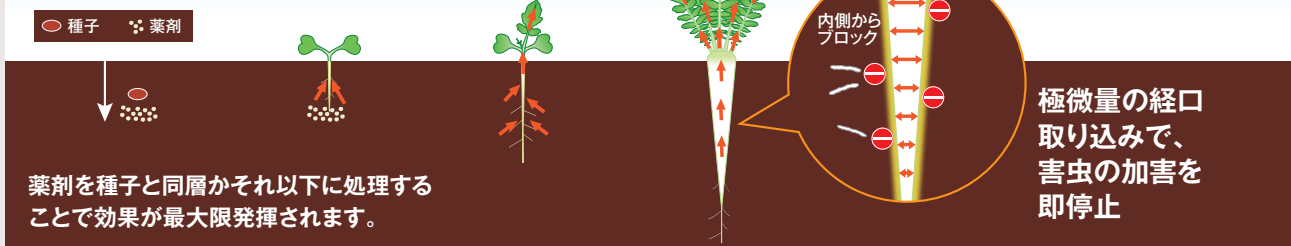
使いやすい、
さらさらの粒剤で、新登場!

- 特長 1** 手取り収入を左右する、厄介なキスジノミハムシに、致命傷を作させない。
- 特長 2** 根から吸収された卓効成分が、だいこんの内側から害虫をブロック。
- 特長 3** 極微量の経口取り込みで、害虫の加害を即停止。

プリロツソ®粒剤オメガの特長

キスジノミハムシの加害をだいこんの内側から守る
根から吸収され、食害を速やかに停止させます。

プリロツソ®粒剤オメガの作用モデル



だいこんの外側からキスジノミハムシを守る、接触やガス効果など、作用性の異なる他剤との併用で、より優れた食害防除が可能です。

キスジノミハムシ以外の害虫も同時に防除

- アブラムシ類(ウイルス病の媒介を防ぐ)
- コナガ、アオムシ、ハイマダラノメイガ、カブラハバチ(葉の食害を止める)
- ネキリムシ類(欠株を生じさせない)



**より高い効果で
キスジノミハムシを
防除するために。**

プリロツソ®粒剤オメガの散布は、
適度な土壤水分が確保されている状態
もしくは降雨の前後をねらって行う
粒剤のため、水分を得ることで有効成分が溶出し、
高い効果を発揮します。

**収穫までの
防除体系を組む**
散布剤で地上のキスジノミハムシ
成虫密度を抑える事で、
根部の被害も予防します。

適用害虫と使用方法 (適用表から一部抜粋)

2021年7月27日現在

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数
だいこん	コナガ、アオムシ アブラムシ類 ハイマダラノメイガ カブラハバチ キスジノミハムシ ネキリムシ類	6kg/10a	は種時	1回	播溝土壤混和	4回以内 (は種時の土壤混和は1回以内、 散布は3回以内)

*だいこんのほかキャベツ、はくさい、ブロッコリー、レタス、ピーマン、トマト、ミニトマト、きゅうり、なす、だいこん、ねぎ、畑わさび、なばな類にも適用があります。

- ラベルをよく読んでください。 ●記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。
- 空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

©2021 FMC Corporation. All Rights Reserved. FMC, FMCロゴ, ®を付した商標は、FMC Corporationまたはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標です。



日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号
ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>
お客様窓口 TEL.03-4463-8271(9:00~17:30 土日祝日除く)

製品情報は
こちらから➡

